

おっしよい

第72号

2026年(令和8年)
1月発行

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペース

新年のご挨拶 ノーベル賞に触れて考える“学びの意味”

新年明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとって健やかで、新しい学びや出会いに恵まれる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、2025年の日本の科学界には、とても明るい話題がありました。日本人研究者がノーベル生理学・医学賞とノーベル化学賞の二つを受賞したのです。前年の被団協による平和賞に続き、二年連続で日本が世界から評価され、私自身も大きな励ましをいただきました。特に、ニュースの中で「金属錯体」という専門用語が取り上げられたのを耳にし、長年この分野に関わってきた者として、思わず嬉しくなりました。

生理学・医学賞を受賞された坂口志文先生は、免疫の働きを調整する「制御性T細胞(Treg)」を発見し、その機能を明らかにされました。免疫は強いほど良いと思われがちですが、暴走すれば自分自身を攻撃してしまいます。Tregは、いわば免疫の“ブレーキ役”。攻撃と抑制のバランスが、人間の健康を支えているのです。このTregは人気マンガ・人気アニメ『はたらく細胞』にも登場し、若い世代の科学理解にも貢献しています。

一方、化学賞を受賞した北川進先生の研究は、錯体化学が専門の私には特に身近なものです。北川先生は金属イオンと有機物を組み合わせ、ジャングルジムのような三次元構造を持つ「多孔性金属錯体(Porous Coordination Polymer:PCP)」を創出しました。同様の研究を進めたアメリカのYaghi博士は、これを「有機金属構造体(Metal Organic Framework:MOF)」と呼びました。その後、国際的にはMOFが広く使われ、今回のノーベル賞発表でもMOFが採用されています。北川先生は、受賞連絡の際に「MOFでよいか」と確認があったという逸話を紹介されました。名前は、研究分野の発展そのものを左右する、大変重要な要素なのだ改めて感じます。

昨年10月と11月に北川先生の講演を拝聴し、その中で語られた「無用の用」という言葉が印象に残っています。MOFは何に使うのか当初は未知数でしたが、微細な空孔が特定の分子を吸着し、選択し、運ぶ機能を持つことが明らかになり、ガス吸蔵、触媒、CO₂回収、医療応用など、応用範囲が一気に広がりました。資源の乏しい国でも空気から何かを生み出せる「夢の材料」と言われる所以です。まるで“霞を食べて生きる仙人”が現代科学で再現されるかのようです。

今回の二つのノーベル賞は、分野こそ異なりますが、「見えない世界の理解が未来をひらく」という科学の精神を示しているように感じます。学びは年齢とも過去とも関係ありません。いつからでも、どこからでも始められます。放送大学での学びが、皆さまの生活や視点を広げるきっかけになれば幸いです。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

福岡学習センター所長 久枝良雄

目次

ごあいさつ	1
客員教員リレーエッセイ	2
講演会・セミナーについて	
ステップアップセミナー	3
公開講演会	4
卒業研究発表会に来ませんか?	5
同窓会からのお知らせ	6
所長講演会について	6
交流会	6
放送大学印刷教材古本市開催のご案内	6

事務室からのお知らせ	7
2025年度第2学期単位認定試験について	7
2026年度から変わります!	8
2026年度第1学期の手続きについて	9
福岡女子大学特別聴講学生募集	10
キャンパスメールについて	10
学生証の交付・更新について	11
学割証について、学習相談について	11
Xのお知らせ、Wi-Fiの利用	12
在学生の概要	13
1月～3月のスケジュール	14

なぜカウンセリングは効果的なのか？ — 誠実で正直な話し合い —

カウンセリングや心理療法という人間の営みはどのように始まったと思われますか。人類の歴史を振り返ってみると、言語の獲得以前からその原型はあったと考えてよいでしょう。仲間が傷ついたり弱ったりしたときに、人は自然とそれに応答し、共感的な鳴き声や表情で、また体を撫でたりさすったりする行動で関わってきたはずです。

言語や文字、文化が成立してきてからも人が人を癒やすことは、さまざまな方法で続けられてきました。宗教活動、儀式や悪魔祓いなどはその最たるものです。精神分析を提唱したジグムント・フロイトが、痙攣などのような身体症状に対して初期の頃に行っていた援助も、特定の時間と空間で催眠を施し、まるで眠ったような状態の患者さんの感情表現を促すものでした。これもある種の非日常的な儀式のようです。人間は歴史の中で、他者の心の傷つき・苦しみ・不満を感じ取りながら、一定の様式をもって関わり、癒やそうとし続けてきたのです。

時代が変わり、人々の抱える悩みも、カウンセリングや心理療法のあり方もずいぶん変わってきました。さまざまな心理療法が開発されてもきました。しかしどの心理療法にも効果に明確な優劣はなく、むしろ「すべてに効果がある」(ただしセラピスト本人の力量や人柄による差は大きい)ことが定説になっています。

理論や技法が違っていてもいずれも効果的ならば、そのエッセンスは何なのでしょう。アメリカの心理学者ウォンパールドの近年の研究で示された最も効果的な方法は、「カウンセリングの目標について誠実に話し合い、相談する側とされる側、双方の考えを合わせていくこと」です。なんて当たり前で、普通のことなのかと驚かれるかもしれません。その他にも「問題に対して協力をしながら解決に向かっていくこと」「カウンセラーが共感的に相談者のことを理解しようとする」「カウンセラーがその人らしく、率直で潔い態度でいること」などが続きます。

当たり前のことを当たり前に行うのは、実は難しいことなのかもしれません。簡単に見えるようで実は奥深い臨床心理学(カウンセリングや心理療法)に関心をお持ちの方は、ぜひ一緒に学んでいきましょう。



九州大学大学院教授
金子 周平

《専門》
臨床心理学



講演会・セミナーについて

ステップアップセミナー

福岡学習センター客員教員による公開講演会です。どなたでも無料でご参加いただけます。

【福岡学習センター5階 講義室】 ※サブ会場(北九州サテライトスペース)でも参加できます。

※参加申込受付: 1月8日(木)から開始(先着順→各定員50名)

申込みはこちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
2月8日(日)	小山内 康人 九州大学 名誉教授 (10:00~12:00)	日本で起こる地震・津波の発生機構と災害 近年、日本各地で大規模な災害をともしなう地震が頻発しています。九州でも2005年の福岡西方沖地震や2016年の熊本地震でなどの活断層地震で甚大な被害が発生し、2024年以降は南海トラフ地震とも関連する日向灘での海溝型地震も頻発しています。このセミナーでは、地震や津波の発生メカニズムについてわかりやすく解説し、日本では避けることができない災害に向けて、防災・減災意識の向上に役立てて欲しいと思います。
	南里 豪志 九州大学 准教授 (13:00~15:00)	プログラミングのはじめ方 パソコンなどで簡単にプログラムを作成できるツールを使った、プログラミングのはじめ方を紹介します。なお、本講座の定員は、福岡学習センター会場が20名、北九州サテライトスペース会場が10名です。また、ノートパソコンかタブレットをご持参ください。学外の方につきましては、ポケットWi-Fiなどインターネットに接続できる環境をご準備ください。

【福岡学習センター5階 講義室】 ※サブ会場(北九州サテライトスペース)でも参加できます。

※参加申込受付: 1月22日(木)から開始(先着順→各定員50名)

申込みはこちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
2月22日(日)	金子 周平 九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授 (10:00~12:00)	筆記の心理: 日記や手紙から心理療法まで 日記にしても手紙にしても、何かを書こうとするだけで、心は独特な動きを始めます。結果的には一文字も書かれなくてもです。筆記の構えはそれだけで心理的な作業だと言えます。心理療法では、悩み事や葛藤、心に残った思いについて、日記や手紙形式で書く作業を活用することがあります。日常生活の中でも書くことは心の健康を保つのに役立つでしょう。今回のセミナーでは、筆記の心模様と心理療法を紹介します。
	田淵 浩二 九州大学大学院 法学研究院 教授 (13:00~15:00)	刑事司法の担い手たち 犯罪、捜査、裁判といった刑事司法の分野は社会生活とも馴染みが深く、警察、検察、裁判所、弁護士といった刑事司法の担い手がテレビドラマの主演として登場することも少なくありません。そこで、実際にこれらの担い手たちはいかなる組織の中で、どういう役割を果たすことが期待されており、それをどうやって果たそうとしているかについて、最新版の白書や裁判官の著作物などを読みながら、少し詳しく学んでみましょう。

【北九州サテライトスペース(コムシティ3階大会議室)】 ※サブ会場(福岡学習センター)でも参加できます。

※参加申込受付: 2月7日(土)から開始(先着順→各定員30名)

申込みはこちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
3月7日(土)	鶴野 玲治 九州大学大学院 芸術工学研究院 教授 (13:00~15:00)	計算が創る映像—コンピュータグラフィックスの理論と表現 コンピュータグラフィックス(CG)は、光の反射や屈折といった物理現象を計算しリアルな映像を生み出す技術です。写真は光が物体に当たりレンズを通してセンサーに結像することで得られます。このプロセスをシミュレーションすれば写真のような画像を生成できます。本セミナーでは、CGの基礎となる考え方を紹介しコンピュータだからこそ可能な「描く」「見せる」「魅せる」「操作する」といった表現技術について解説します。

申込方法

Google フォーム・メール・FAX・福岡学習センター窓口または電話のいずれかの方法により、以下の5項目をお知らせください。

①参加希望セミナー名 ②申込者氏名 ③氏名のフリガナ ④連絡先(TEL) ⑤申込者属性(在学生・一般)

申込先

放送大学 福岡学習センター

メール: fukuoka-koen@ouj.ac.jp (セミナー申込受付専用アドレス)

電話: 092-585-3033 FAX: 092-585-3039

※定員になり次第締め切ります。

公開講演会

①北九州市民カレッジとのコラボ講演会

北九州市民カレッジとのコラボ企画として、公開講演会を開催いたします。(入場無料)

日時 2026年2月7日(土) 13:30~15:30

場所 北九州市立生涯学習センター (北九州市小倉北区大門1-6-43)

講演会 「子どもとの関わりに活かせる心理学」

講師 山下 智也 氏 (北九州市立大学文学部・教授)

対象 100名 ※事前申し込みが必要です。 ※手話通訳・要約筆記があります。

申込 電子申請、郵送、FAX、来館 (2026年1月30日(金)〆切 ※郵送の場合は必着)

【申込み・問い合わせ先】生涯学習総合センター

電話: 093-571-2735 FAX: 093-571-0943

①春日市とのコラボ講演会

春日市とのコラボ企画として、公開講演会を開催いたします。(入場無料)

日時 2026年2月1日(日)
14:00~16:00 (開場は13:30から)

場所 奴国の丘歴史資料館 (春日市岡本3丁目57)

テーマ 「考古学とは」

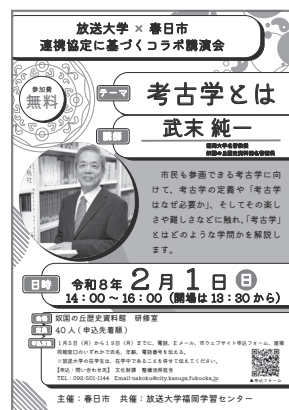
講師 武末 純一 氏
(福岡大学名誉教授・奴国の丘歴史資料館名誉館長)

対象 40名 (申込先着順)

申込 2026年1月5日(月)から19日(月)までに、電話、Eメール、春日市ウェブサイト申込フォーム、直接館窓口のいずれかで氏名、年齢、電話番号をお伝えください。放送大学の在学生は、在学中であることを併せてお伝えください。

【申込み・問い合わせ先】文化財課・整備活用担当

電話: 092-501-1144 E-mail: nakoku@city.kasuga.fukuoka.jp



【申込フォーム】

卒業研究発表会に来ませんか？

2025年度の卒業研究発表会を以下の日程で開催いたします。

発表会の内容等については、事前に学習センターに掲示するとともに福岡学習センターのウェブサイトに掲載いたします。

今年度は、生活と福祉コース、心理と教育コース、社会と産業コースなどの方々が卒業研究を履修されています。卒業研究を履修検討中の方や大学院進学を希望される方は、是非ご参加ください。

開催日時 2026年3月1日(日) 10:30~12:00(予定)

場 所 福岡学習センター 講義室

参加方法 メールまたは電話により、次の3項目についてご連絡ください。

1. 申込者氏名 2. ふりがな 3. 連絡先(電話番号)

申込先・お問合せ 放送大学福岡学習センター
メールアドレス(E-mail) fukuoka-koen@ouj.ac.jp
電話 092-585-3033



同窓会からのお知らせ

福岡同窓会では、下記のとおり公開講演会と交流会を開催いたします。

所長講演会「分子が描く生命と色：ノーベル賞研究と花の色の科学」

概要 2025年、日本人研究者2名がノーベル賞を受賞しました。免疫を制御するT細胞の研究、多孔性金属錯体の開拓——いずれも世界の科学を大きく前進させた成果です。講演前半では、これらの研究の内容やどのように私たちの暮らしや未来につながるのかを、専門外の方にもわかりやすく紹介します。後半では、花の鮮やかな色がどのような分子の仕組みによって生み出されるのかを解説します。自然を科学する視点の面白さを、一緒に楽しんでみませんか。

日時 2026年 3月1日(日) 13:15～14:30 (受付:12:45～)

場所 福岡学習センター 講義室
(Zoomにより、北九州サテライトスペースでも参加できます。)



【講師】
福岡学習センター
所長 久枝 良雄



お申し込みは、こちらから

交流会 (公開講演会終了後、交流会を開催)

概要 福岡同窓会では日頃交流の機会が少ない学生、教職員の交流の場として、交流会を開催いたします。
気取らずにおしゃべりしませんか？

日時 2026年 3月1日(日) 15:00～16:00 (公開講演会終了後)

場所 福岡学習センター 講義室

参加費 無料 ※ソフトドリンクをご用意します

定員 公開講演会・交流会 各60名 (定員になり次第締め切りとなります)

申込 どなたでも参加できます。

参加希望の方は、福岡学習センター宛てメールまたは電話で次の5項目についてご連絡ください。

1. 参加希望(公開講演会・交流会)
2. 参加会場
3. 申込者氏名
4. ふりがな
5. 連絡先(電話番号)
6. 申込者属性(在学生・一般)

福岡学習センター申込受付専用メールアドレス E-mail:fukuoka-koen@ouj.ac.jp
電話:092-585-3033

【同時開催】放送大学印刷教材古本市開催のご案内

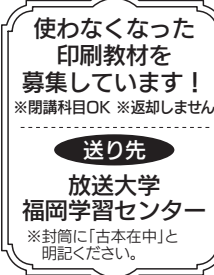
放送大学印刷教材古本市を次の日程で開催します。

【開催日時】2026年3月1日(日) 12:00～13:00 / 15:00～16:00

【場所】福岡学習センター 講義室

主催・問合せ 放送大学福岡同窓会
同窓会事務局メールアドレス:infofukudoso@gmail.com

共催 福岡学習センター 092-585-3033



事務室からのお知らせ

2025年度第2学期単位認定試験について

2025年度第2学期単位認定試験については、(郵送受験方式の4科目を除き)Web受験方式で実施されます。改めまして、試験日程等をご案内しますのでご確認ください。

1. 試験期間及び実施方法

(1) Web 受験方式

試験期間: 2026年1月18日(日)9時～1月26日(月)17時(期間中いつでも受験可)

受験方法: システムWAKABAトップ右側「学内リンク」から「Web 単位認定試験システム」

(<https://shiken.ouj.ac.jp>) にアクセスして受験します。

※1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)

(2) 郵送受験方式

対象科目「行政学講説(‘24)」、「正多面体と素数(‘21)」、「日本美術史の近代とその外部(‘18)」、「量子化学(‘19)」

試験期間: 2026年1月18日(日)～1月22日(木)《本部必着》

受験方法: 1月上旬ごろ大学本部から発送される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて解答を作成し、郵送により提出します。(提出方法詳細は問題用紙等に同封します。)

2. Web 単位認定試験体験版

Web 単位認定試験システム内に、Web 単位認定試験体験版が公開されています。実際の受験時にスムーズに操作できるように、まだ体験版の操作を行われていない方は、試験期間前までに、受験に使用する予定の端末から体験版の操作を必ず行ってください。(操作マニュアルはWeb 単位認定試験システム内に掲載されています。)

3. 学習センターまたはサテライトスペースでの受験申請をされた方について

学習センターまたはサテライトスペースでの受験申請をされた方は、次の点にご注意いただき、受験をするようにしてください。

(1) 学習センター等で受験する場合、原則として「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日・時限に受験する必要があります。(ただし、学習センターと試験日を調整した場合を除く。)

(2) 学習センター等で受験する場合でも、原則として問題閲覧(試験形式問わず)と択一式の解答に係るパソコン操作はご自身で行っていただきます。(学習センター等受験では、記述式の解答のみ解答用紙で行います。)

福岡学習センター及び北九州サテライトスペースでは試験期間に入る前までに操作体験会を行いますので、操作体験がお済みでない方は、ご予約のうえ、ご参加ください。

4. 再試験について

2025年度第2学期に登録した放送授業科目で【通信指導問題…未提出・不合格】【単位認定試験…未受験・不合格】だった科目については、次の学期に学籍がある場合に限り科目登録申請を行わなくても再試験の対象になります。ただし、【通信指導が未提出・不合格】だった科目は、次学期にWeb通信指導により解答を提出し、合格すれば再試験を受験できます。

なお、2025年度第2学期末で学籍が切れる方は、継続入学の手続き(9ページ参照)により学籍を継続させる必要があります。

※再試験については、「学生生活の栞」(学部p78、大学院p83)をご覧ください。

2026年度から変わります！

福岡学習センター、北九州サテライトスペースの開所日が変わります。

■ 開所日と利用時間

【開 所 日】	4～7月	水曜～日曜(面接授業または単位認定試験を行う月)
	8～9月	火曜～土曜
	10～1月	水曜～日曜(面接授業または単位認定試験を行う月)
	2～3月	火曜～土曜
【利用時間】	9:30～17:30	

■ 閉 所 日

- ・月曜日、火曜日(面接授業または単位認定試験を実施する月(4～7月、10～1月))
- ・日曜日、月曜日(8～9月、2～3月)
- ・国民の祝日
- ・年末年始(12月29日～1月3日)

※閉所日及び利用時間は、学習センターごとに地域の実状に応じて異なりますので、他の学習センターをご利用の際はご注意ください。

窓口時間を変更します

福岡学習センター、北九州サテライトスペースでは、2026年度より、**窓口時間**を次のように変更します。

(現 行) 9:30～17:45 ➡ (2026年度から) 9:30～12:00、13:00～17:30

「学生生活の葉」の電子化(冊子(紙)での配付をいたしません。)

2026年度から「学生生活の葉」は冊子での配布を終了し、電子形式(PDFなど)で提供します。

これにより、制度の変更など最新の情報をより早くお届けできるようになります。また、環境にも配慮した取り組みです。

詳細は今後、システム WAKABA 等で改めてお知らせいたします。

キャッシュレス決済の本格導入

学費(面接授業追加登録)、証明書等発行、学生証再発行、文献複写及び学生教育研究災害傷害保険(学研災)における窓口支払方法に、キャッシュレス決済を導入します。これに伴い、**窓口での支払い方法は、原則、キャッシュレス決済**となります。

学費(面接授業追加登録)の支払いのみ、事務手数料(200円/科目)が必要になりますが、それ以外では、手数料等はかかりません。

トップページ > トピックス > お知らせ

「2025年10月9日 キャッシュレス決済の対象拡大について」

<https://www.ouj.ac.jp/news/2025/information/9-2.html>



通信指導の択一式提出型問題の添削結果及び自習型問題の回答・解説については原則 Web で

通信指導の提出型問題については2024年度第2学期よりWeb通信指導による提出を原則とした一方、択一式提出型問題の添削結果及び自習型問題の解答・解説については、Webで確認できるものの、暫定的に郵送も行ってきました。

2026年度より、**択一式提出型問題の添削結果及び自習型問題の解答・解説についても原則 Web での確認のみとし、郵送は行わないこととなりました。**

2026年度第1学期の手続きについて

次学期の継続入学・科目登録のため、対象者には1月中旬に大学本部から各要項が届きます。
申請、出願の際には各要項をご確認のうえ、手続きをしてください。

注意

全ての面接授業科目およびライブWeb授業科目には受講定員が設けられ、科目登録申請をしても必ず受講できるとは限りません。申請者多数の科目で抽選が行われます。（「学生生活の栞」(学部P40)参照）

2026年度4月以降も学籍が続く方

■科目登録手続き■

次学期に学びたい科目を選択し、システムWAKABA(教務情報→科目登録申請)、または
郵送(科目登録申請表を送付)で科目登録申請を行ってください。

申請期間

Web：2026年2月13日(金)～2026年2月28日(土)【24時まで】

郵送：2026年2月13日(金)～2026年2月27日(金)【私書箱必着】

※放送授業およびオンライン授業は「授業科案内」、面接授業は「面接授業時間割表」を参考に学びたい科目を選択しましょう。

※郵送の場合は登録後の科目変更はできません。Webの場合は申請期間内であれば一部変更可能です。

※詳しくは大学本部から1月中旬に送付される「科目登録申請要項」をご確認ください。

2025年度3月末で学籍が切れる方

■継続入学手続き■

引き続き継続して入学をご希望される場合は、システムWAKABA(教務情報→継続入学申請)からスムーズに出願が行えます。

出願期間

第1回

Web：2026年2月27日(金)【24時まで】

郵送：2026年2月27日(金)【私書箱必着】

第2回

Web：2026年3月16日(月)【17時まで】

郵送：2026年3月16日(月)【私書箱必着】

※継続入学の手続きについては、本部から1月中旬に送付される「継続のご案内」で出願してください。

※郵送での出願は「面接授業」の登録は行えませんが、ご注意ください。

※郵送出願を希望される場合は、放送大学ウェブサイトまたは学習センターへ資料請求ください。

今学期卒業見込みで次学期以降に学籍がある方

①卒業とならない場合に備えての科目登録

大学本部から送付される「科目登録申請要項」により期間内に科目登録手続きを行ってください。

※卒業した場合は、この科目登録は無効となります。

②卒業となった場合の継続入学のための出願

大学本部から継続入学の案内文書が送付されますのでご確認ください。

継続入学をご希望される場合は、「募集要項等」を取り寄せ、期間内に入学手続きを行ってください。

※3年次へ学士入学となります。「学生生活の栞」(学部p95～97)をご参照ください。

システムWAKABAから出願・申請が行えます。

福岡女子大学特別聴講学生募集

放送大学の学生が「福岡女子大学特別聴講学生」として福岡女子大学の科目を学ぶことができます。

今回は、2026年度第1学期の募集を行います。履修できるのは、福岡女子大学が指定した科目で下記の方が対象です。授業料は1単位当たり14,800円です。

対 象 次の①～④のすべてを満たす者

①女性

②全科履修生

(2025年度第2学期から2026年度第2学期に全科履修生として在学中であること)

③本学の在学年数が1年以上の者(2024年度2学期以前の入学者)

※編入学の場合、編入により短縮された年数は含まない。

④放送授業科目において30単位以上修得した者

募集人員 2名(1名につき1科目のみ履修)

受付期間 2026年1月6日(火)～2026年1月27日(火)

※募集要項の入手、科目等詳細は事務室にお問い合わせください。

〈重要〉キャンパスメール(Gmail)について

「キャンパスメール」は、Webブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員にメールアドレスが割り振られています。福岡学習センターから修学関連の連絡を随時いたしますので、定期的にキャンパスメールを確認して頂きますようお願いいたします。

アクセス方法

※画像はパソコンの例です。スマホやタブレットの方は、Gmailのアプリから入ってください。

1 福岡学習センターウェブサイトトップ画面右の「システムWAKABA」をクリック



2 ログインをクリックします



3 ログインIDとパスワードを入力



4 システムWAKABAトップ画面 左下「キャンパスメール」をクリック



【大学本部連絡先】 Tel 043-276-5111(総合受付)

学生証の交付・更新について

学生証は、福岡学習センター及び北九州サテライトスペースの窓口で交付しています。(福岡学習センター所属の方は福岡学習センターで、北九州サテライトスペース所属の方は北九州サテライトスペースでの交付となります。)

新規及び継続入学の方は「入学許可書」を、全科履修生で有効期限切れ更新の場合は、「旧学生証」を提示してください。

なお、顔写真が未登録の場合、学生証は発行できません。システムWAKABAまたは郵送により手続きを行ってください。(詳しくは、「学生生活の葉」、教養学部はP23～25、大学院はP34～37をご覧ください。)



学生の種類	全科履修生	選科履修生	科目履修生
学生証の有効期限	2年間	1年間	半年間(1学期間)

有効期限は、学生証の左下(写真下部)に記載されています。なお、顔写真が未登録の場合、学生証は発行できません。システムWAKABAの「学生カルテ」から顔写真の登録を行うか、「学生生活の葉」巻末の「写真票」を本部へ提出してください。



学割証について

全科履修生及び修士・博士全科生に限り、学割証を発行しています。自宅「最寄り駅」から福岡学習センターまたは北九州サテライトスペースに通学する場合等に申し込むことができます。なお、交通機関によって発行できる条件、割引率等が異なります。詳細は福岡学習センター発行の「利用の手引」(P31)および「学生生活の葉」(教養学部P128～129、大学院P128～129)をご覧ください。

学習相談について

福岡学習センター・北九州サテライトスペースでは、学習の方法や進め方、修学上の相談などを所長や客員教員、事務職員(相談内容により担当が決まります)がお受けしております。相談を希望される場合は、福岡学習センターのウェブサイトに掲載された「学習相談票」またはお電話により、お気軽にお申し込みください。

放送大学福岡学習センター X(旧 Twitter)のお知らせ

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペースのウェブサイト更新情報などを発信しています。

下記URLで閲覧できますので、ぜひご確認ください。フォローをすると、ウェブサイト更新の通知を受け取ることができます。

【放送大学福岡学習センター X(旧 Twitter)】

URL:<https://twitter.com/fukuokacenter>

アカウント:@fukuokacenter



【フォロー方法】

- ①上記URLから放送大学福岡学習センターのX(旧 Twitter)にアクセス
- ②アカウントをお持ちの方はログイン、お持ちでない方はアカウントを作成し、「フォローする」をクリック

Wi-Fiの利用

福岡学習センター及び北九州サテライトスペースにおいて、Wi-Fiの利用を希望される方は、「Wi-Fiの利用について」を参照のうえ、お手続きください。

※福岡学習センターウェブサイト > 施設利用案内 > 「Wi-Fiの利用について」

【利用までの流れ】

- ①情報セキュリティ研修を受講
- ②無線LAN利用申請(情報セキュリティ研修の修了証が発行された後)
- ③Wi-Fiの接続

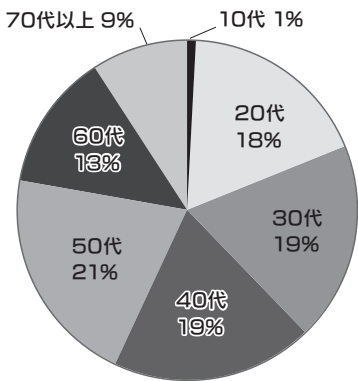
※ID発行後、ご自身のIDやパスワードが分からなくなった場合は、無線LAN利用申請画面から確認することができます。



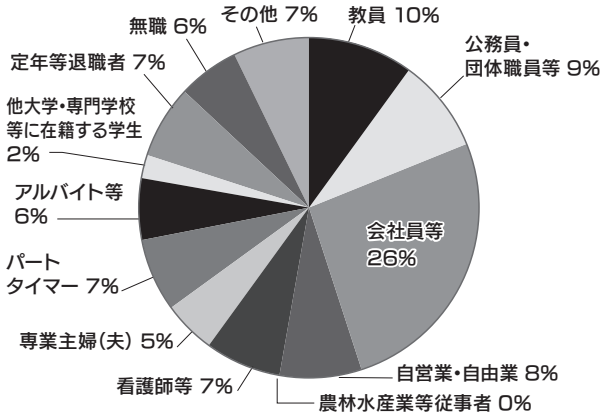
【2025年度第2学期】

福岡学習センター・北九州サテライトスペース 在学生の概要（2025年11月現在）

教養学部(2,381人)

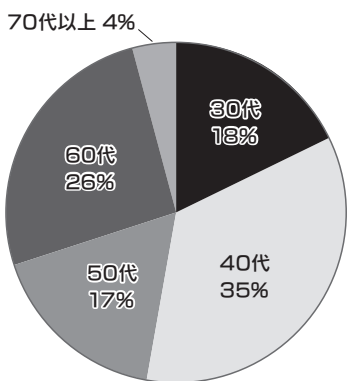


【年代別】

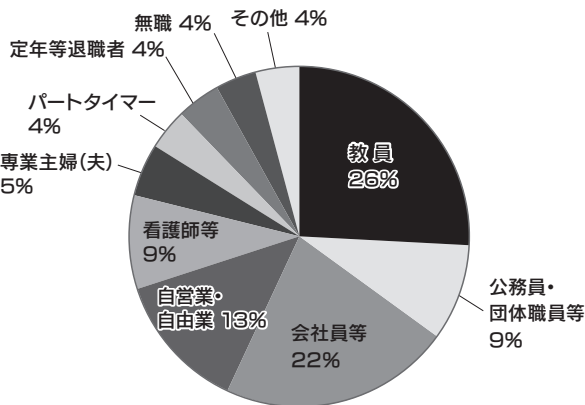


【職業別】

大学院(111人)



【年代別】



【職業別】

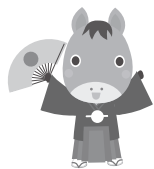
福岡学習センター・北九州サテライトスペース科目登録ランキング

【学部】

順位	科目名	登録人数
1	特別支援教育基礎論('24)	129
2	肢体不自由児の教育('20)	127
3	特別支援教育総論('25)	126
3	知的障害教育総論('25)	126
5	より良い思考の技法('23)	97
6	心理学概論('24)	85
7	日本語リテラシー('21)	72
8	今日のメンタルヘルス('23)	66
9	シン・ビートルズde英文法('25)	65
10	発達心理学概論('17)	60

【大学院】

順位	科目名	登録人数
1	発達心理学特論('21)	8
2	臨床心理学特論('23)	6
2	学校臨床心理学特論('21)	6
4	臨床心理面接特論I('25)	5
4	美学・芸術学研究('19)	5
4	グローバル時代の教育文化('25)	5
4	障害児・障害者心理学特論('19)	5
4	精神医学特論('22)	5
9	司法矯正・犯罪心理学特論('20)外5科目	4



1月～3月のスケジュール



1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月の行事・お知らせ

4日 臨時閉所日

18～26日 Web単位認定試験



2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2月の行事・お知らせ

1日 春日市コラボ講演会

7日 北九州市コラボ講演会

8日 ステップアップセミナー(福岡)

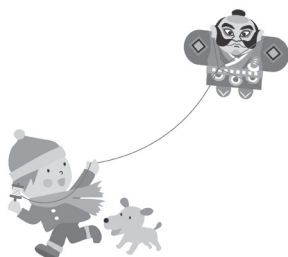
13日 2026年度第1学期科目登録申請受付開始
(Web～2/28、郵送～2/27)

22日 ステップアップセミナー(福岡)

28日 2026年度第1学期入学出願受付第1回締切

28日 2026年度第1学期入学出願受付第2回開始
(教養学部, 大学院修士選科生, 修士科目生～3/16)

28日 春日市コラボ講演会(食育)



3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3月の行事・お知らせ

1日 卒業研究発表会

1日 所長講演会

7日 ステップアップセミナー(北九州)

22日 学位記授与式(福岡)

■ 閉所日

※予定は変更となる場合があります。
最新の情報は福岡学習センターウェブサイトにてご確認ください。

放送大学福岡学習センター

〒816-0811 春日市春日公園6-1
(九州大学筑紫キャンパス内 E棟4・5階)
TEL:092-585-3033

放送大学北九州サテライトスペース

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3
(コムシティ3階)
TEL:093-645-3201

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

ウェブサイト:
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukuoka/>



ウェブサイト



X (旧 Twitter)